

小村寿太郎侯東京奉賛会



Topics

1. 小村侯青山墓所参拝・清掃活動報告
2. 小村侯セミナー(対話集会)の開催状況
3. 小村侯終焉の地巡りと湘南観光ツアー報告

2. 小村侯セミナー(対話集会)の開催

小村侯の不滅の業績について多くを学び、語り合う対話集会の開催を継続して行っております。今年は9月末で第3回となり延べ58名の方が参加されました。

	開催日	講師	出席者数
第1回	5月25日(日)	川村蒼市 会長	17名
	演題	ハリマン事件と小村侯	
第2回	7月27日(日)	郡司聡視 副会長	18名
	演題	小村侯墓地内灯籠に刻まれた人名との関係	
第3回	9月28日(日)	小野司市 顧問	23名
	演題	小村寿太郎侯の人間模様と幕末、明治時代の世相	

1. 小村侯青山墓所参拝・清掃活動

昨年の総会以降、5回の青山墓所参拝・清掃を延べ77名の参加で行うことができました。
なお8月には小村侯ご長男の奥様小村温夫人の墓石修理を行いました。

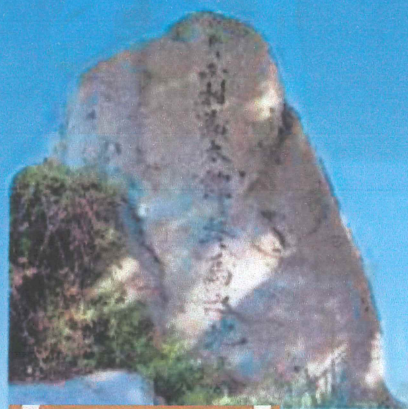
	実施日	参加人数
第1回	25年11月24日	11名
第2回	26年 3月30日	17名
第3回	26年 5月25日	16名
第4回	26年 7月27日	18名
第5回	26年 9月28日	15名

発行: 小村寿太郎侯東京奉賛会 平成26年11月8日 事務局 金丸博司

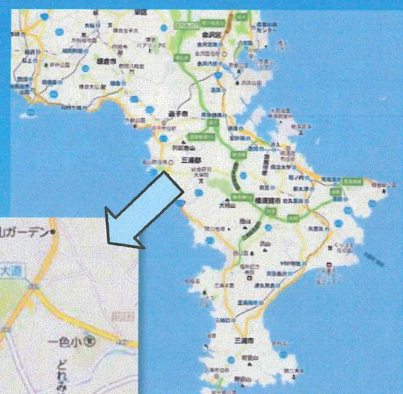
〒130-0026 東京都墨田区両国1-14-10-801 TEL: 03-3846-9030

FAX: 03-6659-3084 E-MAIL: kanemaru.hiroshi@orchid.plala.or.jp

3. 小村侯終焉の地巡りと湘南観光ツアー



小村侯生誕地の飫肥石
を使用した石碑



小村寿太郎侯東京奉賛会主催「小村侯終焉の地巡りと湘南観光ツアー」が9月22日(月)秋晴れの好天の下、23名の参加者を得てマイクロバスにより催行された。

先ず、東京青山霊園の小村侯の墓参を済ませて、9時にバスに乗り込み、一路葉山に向けて出発した。

1855年(安政2年)、9月16日、日向国飫肥で生を享けた小村寿太郎侯は、1911年(明治44年)11月26日、結核療養のために滞在していた葉山の別荘でその生涯を閉じた(56歳)。不平等条約の改正、日英同盟、日露戦争、韓国併合等天下の大仕事に恵まれた天分を存分に発揮し、渾身の力を振り絞った小村侯は、1911年8月25日、第二次桂太郎内閣の総辞職により、同月30日、外相を辞任して、帝国ホテルで数日を過した後、嘗て1908年(明治41年)2度目の外相就任後に葉山一色村に年300円で借りていた家(8畳3間、4畳半3間)に移り住んだが、満身創痍で気力も体力も限界に達していて、ただ黙ったまま藤椅子に座っていることが多く、僅か3か月後に病に倒れた。

ここには今、高さ1.3メートルの「小村寿太郎侯終焉之地」という石碑が遥か故郷飫肥を向いて密かに立っているだけであった。

この後、ツアー参加者一行は「桂太郎別荘・長雲閣跡」を訪ねた。日露戦争前後には政府要人による重要会議がこの別荘を中心に度々開かれ、司馬遼太郎原作の「坂の上の雲」にも「葉山会議」と称して登場している。県道沿いのレストランの塀に前記「長雲閣跡」の案内板が掛かっているが、実際は県道から少々中に入った「長雲閣こみち」に沿った白い瀟洒な2階建ての建物がそれである。因みに「長雲閣」の命名は伊藤博文で、ここを訪れた彼が邸宅から見える海岸線にたなびく雲を見てさらさらと筆を運んだとされている。

続いて、高台にある「湘南国際村」から遥か太平洋の水平線を望み、次に訪れた三崎港ではまぐろ丼ランチに舌鼓を打ち、最後は城ヶ島を一巡り散策して、夕刻、品川解散で和気藹々のツアーはお開きとなった。

